



芽室町 コミュニティ・スクール(CS)通信

～「郷育・夢育」を軸とした地域とともにある学校づくり&学校を核とした地域づくり～

発行：めむろ郷育・夢育応援団事務局(芽室町教育委員会)

No. 12

令和6年 12月23日
発行

ゲスト
ティーチャー【芽室中学校 3年生 103名 社会科 **模擬選挙** …12月4日(水) 10:45～

学
習
サ
ポ
ー
タ
ー

「18歳になったら選挙に行きますか？」 → 「選挙に行く」97%



芽室中学校3年生が、主権者教育の一環として公民としての資質・能力を育むことを目的に、候補者や政党に投票する「模擬選挙」が行われました。講師として、芽室町選挙管理委員会事務局 池田書記長をお招きし、4名のボランティアさんが受付や立会人、投票用紙交付担当などの投票所内の役割に協力してくれました。

当日は、投票所内の説明や投票方法について講師の説明を聞いたのち、芽室町選挙管理委員会の協力のもと、実際の投票台や投票用紙自動交付機、投票箱が設置された体育館を投票所として、模擬選挙が始まりました。

一番に投票した生徒は、少し緊張気味に「自分で一票を入れた実感がある。政治について学習し、投票することが改めて大事だと思った。」と話し、また、「自分と同じ考えの人に政治に携わってほしいので、18歳になったら必ず投票する。」など、自分の意見を政治に生かすことが大切である。という考えをもった生徒が多く、「18歳になったら選挙に行きますか」の質問に97%の生徒が「行く」と回答しました。

受付を担当していただいたボランティアさんは、「模擬選挙という緊張感のある学習が、子どもたちの表情から伝わってきました。今回、このようなお手伝いできて良かったです。」と、おっしゃっていました。

生徒たちは、社会の担い手である意識を強く持ち、よりよい社会をつくるためには、選挙を通じて代表者を選ぶことが大切であることを学びました。

この学習に協力できて、本当に良かった！

芽室中学校3年生の模擬選挙の学習に協力しました。私は投票用紙を渡す係を担当しました。私がドキドキしながら投票用紙を渡すと「お願いします。」「ありがとうございました。」「子どもたちの礼儀正しい挨拶に驚きました。そして、次々に投票していく子どもたちの姿を見ながら、芽室の未来を担う子どもたちが頼もしく感じました。この学習に協力できて、本当に良かったです！



めむろ
郷育・夢育応援団員
サポーターズボイス
五十嵐 純子さん

安全・環境
サポーター

【芽室南小学校 5年生 14名 家庭科】 …12月5日(木) 10:35～



ミシンの安全な使い方をサポート ～ エプロンづくり



芽室南小学校5年生の家庭科の学習に、2名のボランティアさんが協力してくれました。子どもたちは、前の時間にエプロンの形に「仕付け」を行い、この時間はエプロンの上下、脇の部分をミシンで縫う学習でした。ボランティアさんから「縫う時は、ミシン針の近くに指を置かないこと」や「押さえを浮かせて、直線縫いになるように布を動かすこと」などのアドバイスを受けながら、真剣に取り組んでいました。



ミシンで丁寧に縫う作業を行い、エプロンが完成した子どもは「エプロンの脇を縫う時に教えてもらって上手にできた。また教えてほしい。」と、満足感を笑顔で表現し、それを見ていたボランティアさんは「子どもたちが安全に楽しく学習できて良かったです。また、協力します。」とおっしゃっていただき、改めて、各ボランティアさんのご協力に感謝いたします。

学校支援ボランティアは毎時募集しています。
詳しくは、生涯学習課社会教育係(62-9730)
にお問い合わせください。



めむろ郷育・夢育応援団員
(学校支援ボランティア)募集



芽室町のコミュニティ・スクール
について